

公益財団法人福岡県すこやか健康事業団における健診（検診）実績報告

当事業団は、がん・生活習慣病の克服に向けて、科学的根拠に基づく質の高い健診（検診）、知識の普及啓発、調査研究等を行うために学術研究センターを設置しております。

特に、各種健診（検診）データの分析・評価を行い、予防医学等に関する調査研究に資するため、胃・大腸がん、乳がん、子宮がん、肺がん、生活習慣病、労働衛生の6部門からなる学術専門部会を設置し、各委員はそれぞれの分野の有識者で構成されています。

今回の報告は、6学術専門部会で分析・評価いただいた実績報告です。

【平成24年度健診（検診）実績概要報告】

平成24年度に当事業団で行いました健診（検診）総数は40万人を超えました。その内で主なものは、健康増進事業として行われています「がん検診」が307,379人（胃がん：81,511人、大腸がん：67,720人、肺がん：46,630人、子宮がん：56,031人、乳がん：55,487人）で最も多く、次いで健康診査128,431人（労働衛生における一般健診84,168人含む）、特殊健診11,859人でした。

特定健診は職域（企業等）47,028人、地域（住民）40,397人の87,425人で、特定保健指導は職域で積極的支援（生活習慣改善の必要性が高い方）262人（評価率95.5%）、動機付け支援（対象者自身の努力による行動変容が促される方）234人（評価率95.9%）、地域で積極的支援119人（評価率72.3%）、動機付け支援433人（評価率80.1%）の計1,048人を実施しました。支援開始6ヶ月後の腹囲・体重の変化の平均は、職域の積極的支援で-1.6cm・-1.8kg、職域の動機付け支援で-0.8cm・-0.8kg、地域の積極的支援で-1.3cm・-2.0kg、地域の動機付け支援で-0.4cm・-0.9kgで、特定保健指導により、概ね腹囲・体重の改善がみられました。

当事業団は、平成25年4月に福岡県認定の公益財団法人としてスタートしましたが、福岡県のみならず、西日本地域において、より広域的に公益目的事業を展開するために、本年4月より内閣府認定の公益財団法人に移行いたしました。これを機に、学術研究センターの活動をさらに発展させ、地域住民の皆様の健康増進と福祉の向上に取り組んできたいと思っております。皆様のご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

当事業団の健康診断及びそのデータを皆様の健康管理に役立てていただき、疾病予防、疾病の早期発見・早期治療の一助になれば幸いです。

平成26年10月

公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団
会長 原 信之

平成24年度 がん検診実施状況総括(日本対がん協会全国支部合計と事業団実績)

		受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん	がん発見率
		(A)	(B)	B/A×100	(C)	C/B×100	(D)	D/A×100
胃がん検診	福岡県支部(当事業団)データ	81,511	5,531	6.8	4,286	77.5	98	0.12
	日本対がん協会(全国支部合計)データ	2,381,804	186,955	7.9	145,076	80.8	3,201	0.14
子宮頸がん検診	福岡県支部(当事業団)データ	56,031	775	1.4	647	83.5	33	0.06
	日本対がん協会(全国支部合計)データ	1,313,900	18,587	1.4	15,243	83.6	337	0.03
乳がん検診	福岡県支部(当事業団)データ	55,487	4,450	8.0	4,089	91.9	175	0.32
	日本対がん協会(全国支部合計)データ	1,202,730	70,241	5.8	60,303	89.6	2,652	0.23
大腸がん検診	福岡県支部(当事業団)データ	67,720	3,599	5.3	2,410	67.0	112	0.17
	日本対がん協会(全国支部合計)データ	2,367,015	137,579	5.8	92,160	70.2	3,707	0.16
肺がん検診	福岡県支部(当事業団)データ	46,630	2,005	4.3	1,776	88.6	32	0.07
	日本対がん協会(全国支部合計)データ	3,063,769	66,934	2.2	53,339	81.6	1,512	0.05

1. 胃がん検診の実施状況

※早期がんを深達度M・SMと定義

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	51,168	3,534	6.9	3,125	88.4	81	0.16	55	67.9	2.29
職域	28,523	1,868	6.5	1,089	58.3	17	0.06	11	64.7	0.91
ドック	1,820	129	7.1	72	55.8	0	0.00	-	-	-
総計	81,511	5,531	6.8	4,286	77.5	98	0.12	66	67.3	1.77

平成24年度の胃がん検診受診者数は地域で51,168人、職域で28,523人、人間ドックで1,820人、計81,511人であった。全体の要精検率は6.8%、精検受診率は77.5%、発見がん数は98人でがん発見率は0.12%、そのうち早期がんは66人で早期がん率は67.3%、陽性反応適中度は1.77%であった。いずれの値も、厚生労働省が平成20年に策定した市町村事業における評価指標(許容値:精検受診率70%以上、要精検率11%以下、がん発見率0.11%以上、陽性反応適中度1.0%以上)は満たしている。

2. 子宮頸がん検診の実施状況

※早期がんを臨床病期I A1期までと定義

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	44,231	435	1.0	386	88.7	21	0.05	14	66.7	4.83
職域	11,106	317	2.9	241	76.0	12	0.11	9	75.0	3.79
ドック	694	23	3.3	20	87.0	0	0.00	0	0.0	0.00
計	56,031	775	1.4	647	83.5	33	0.06	23	69.7	4.26

※注:発見がんのうち、上皮内がん18人を除いた場合、全体のがん発見率15人、発見率0.03%、早期がん数5人、早期がん率33.3%、陽性反応適中度1.94%

平成24年度の子宮頸がん検診受診者数は地域で44,231人、職域で11,106人、人間ドックで694人、計56,031人であった。全体の要精検率は1.4%、精検受診率は83.5%、発見がん数は33人でがん発見率は0.06%、そのうち早期がんは23人で、早期がん率69.7%、陽性反応適中度は4.26%であった。また、厚生労働省が平成20年に策定した市町村事業における評価指標の許容値(要精検率1.4%以下、精検受診率70%以上、がん発見率0.05%以上、陽性反応適中度4.0%以上)は、全て満たしていた。

3. 乳がん検診の実施状況

※早期がんを臨床病期I期までと定義

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	44,251	3,449	7.8	3,272	94.9	159	0.36	115	72.3	4.61
職域	10,531	922	8.8	760	82.4	16	0.15	11	68.8	1.74
ドック	705	79	11.2	57	72.2	0	0.00	-	-	0.00
計	55,487	4,450	8.0	4,089	91.9	175	0.32	126	72.0	3.93

平成24年度の乳がん検診受診者数は地域で44,251人、職域で10,531人、人間ドックで705人、計55,487人であった。全体の要精検率は8.0%、精検受診率は91.9%、発見がん数は175人でがん発見率は0.32%、そのうち早期がんは126人で早期がん率72.0%、陽性反応適中度は3.93%であった。これらの成績は、厚生労働省が平成20年に策定した地域検診における評価指標(許容値:要精検率11%以下、精検受診率80%以上、がん発見率0.23%以上、陽性反応適中度2.5%以上)を満たしている。

4. 大腸がん検診の実施状況

※早期がんを深達度M・SMと定義

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	39,660	2,243	5.7	1,823	81.3	90	0.23	56	62.2	4.01
職域	25,611	1,218	4.8	532	43.7	22	0.09	16	72.7	1.81
ドック	2,449	138	5.6	55	39.9	0	0.00	0	0.0	0.00
計	67,720	3,599	5.3	2,410	67.0	112	0.17	72	64.3	3.11

平成24年度の大腸がん検診受診者数は地域が39,660人、職域が25,611人、ドックが2,449人、計67,720人であった。要精検率は5.3%、精検受診率は67.0%、発見がん数は112例、がん発見率は0.17%、そのうち早期がんは72例で早期がん率は64.3%、陽性反応適中度は3.11%であった。

地域においては、厚生労働省が平成20年に策定した市町村事業における評価指標(許容値:要精検率7.0%以下、精検受診率70%以上、がん発見率0.13%以上、陽性反応適中度1.9%以上)を満たしている。

5. 肺がん検診の実施状況

要精検を胸部読影判定D・Eとした場合

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	46,444	2,004	4.3	1,775	88.6	32	0.07	15	46.9	1.60
職域	186	1	0.5	1	100.0	0	0.00	0	0.0	0.00
計	46,630	2,005	4.3	1,776	88.6	32	0.07	15	46.9	1.60

要精検を胸部読影判定Eのみとした場合

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)	精検受診者数(人)	精検受診率(%)	がんであった者(人)	がん発見率(%)	早期がん数(人)	早期がん率(%)	陽性反応適中度(%)
地域	46,444	886	1.9	800	90.3	12	0.03	4	33.3	1.35
職域	186	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.0	0.00
計	46,630	886	1.9	800	90.3	12	0.03	4	33.3	1.35

読影判定別 がん発見内訳

	受診者数(人)	読影判定E				読影判定D				陽性反応適中度(%)	
		該当者(人)	がん(人)		該当者(人)	がん(人)		全体(D+E)	Eのみ		
			早期	進行		早期	進行				
地域	46,444	886	4	8	1,118	11	9	1.35	1.60		
職域	186	0	0	0	1	0	0	0.00	0.00		
計	46,630	886	4	8	1,119	11	9	1.35	1.60		

平成24年度の肺がん検診受診者数は地域で46,444人、職域で186人、計46,630人であった。

胸部読影判定D・E判定を要精検とした場合、要精検率は4.3%、精検受診率は88.6%、発見がん数は32人でがん発見率は0.07%、そのうち早期がんは15人で、早期がん率46.9%、陽性反応適中度は1.6%であった。

一方、胸部読影判定E判定を要精検とした場合、要精検率は1.9%、精検受診率は90.3%、発見がん数は12人でがん発見率は0.03%、そのうち早期がんは4人で、早期がん率33.3%、陽性反応適中度は1.35%であった。

厚生労働省が平成20年に策定した市町村事業における評価指標の許容値(E判定のみ)では要精検率3.0%以下、精検受診率70%以上、がん発見率0.03%以上、陽性反応適中度1.3%以上であり、当事業団における値は全て満たしていた。

一方、読影判定別の要精検者は、Eが886人、Dが1,119人であったが、そのうちE判定からは早期4例、進行期8例の計12例、D判定からは早期11例、進行期9例の計20例のがんが発見された。

6. 健診・特定保健指導

受診者および有所見者状況

①平成24年度 健診受診者状況



平成24年度の健診受診者総数は、職域84,168人、地域44,263人の計128,431人であった。そのうち、特定健診は職域47,028人、地域40,397人の計87,425人であった。

<性別・年齢構成>



	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
男性	9,193	14,479	11,428	9,936	5,381	402
女性	7,185	9,215	8,123	6,190	2,395	241

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
男性	72	508	1,957	2,141	7,502	5,110	235
女性	183	1,771	2,672	3,500	11,984	6,387	241

性別・年齢別にみると、職域は男性が約6割を占め、30歳代が最も多く、40歳代、20歳代、50歳代の順であった。地域は女性が約6割を占め、年齢は60歳代が最も多く、地域全体の約4割を占めている。

②特定保健指導状況

<腹囲・体重の変化の平均(支援開始6ヶ月後)>

【職域】	
積極的支援	動機付け支援
腹囲増減数(平均)	腹囲増減数(平均)
体重増減数(平均)	体重増減数(平均)
-1.6 cm	-0.8 cm
-1.8 kg	-0.8 kg

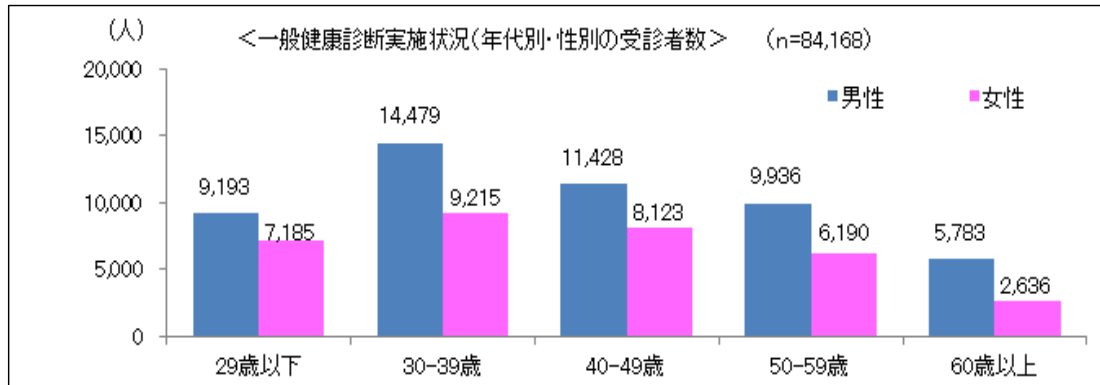
【地域】	
積極的支援	動機付け支援
腹囲増減数(平均)	腹囲増減数(平均)
体重増減数(平均)	体重増減数(平均)
-1.3 cm	-0.4 cm
-2.0 kg	-0.9 kg

7. 労働衛生

一般健康診断実施状況

年代別の受診者数では、29歳以下が16,378人、30歳代が23,694人、40歳代が19,551人、50歳代が16,126人、60歳以上が8,419人となっている。男女とも30歳代が最も多く、次いで40歳代が多い結果となった。

【年齢階級別受診者数】



(2) 特殊健康診断実施報告

特殊健康診断の項目別の受診者数と判定結果をみると、管理Bが有機溶剤で0.3%、特定化学物質は0%であった。石綿の健診において、要二次検査の対象者が6人あり、うち4人は胸部CT検査まで実施した。その結果は管理Aが2人、管理Bが2人であった。

健康診断項目	区分	受診者数 人	判定結果											
			管理A		管理B		管理C		管理R		管理T		要二次検査	
			人	(%)	人	(%)	人	(%)	人	(%)	人	(%)	人	(%)
有機溶剤		6,339	5,700 (89.9)	18 (0.3)		(0.0)		(0.0)		(0.0)	621 (9.8)		(0.0)	
特定化学物質		3,892	3,769 (96.8)		(0.0)		(0.0)		(0.0)	123 (3.2)		(0.0)		
電離放射線		967	945 (97.7)		(0.0)		(0.0)		(0.0)	22 (2.3)		(0.0)		
鉛		230	215 (93.5)		(0.0)		(0.0)		(0.0)	15 (6.5)		(0.0)		
石綿		431	417 (96.8)	1 (0.2)		(0.0)		(0.0)		7 (1.6)	6 (1.4)			

(3) 作業環境測定

平成24年度の環境科学センターの作業環境測定の実績は、鉱物性粉じんが46事業場、このうち第一管理区分が177作業場で全体の85%を占めた。特定化学物質等が68事業場、第一管理区分が184作業場で89%を占める。金属類の鉛が3事業所、全ての作業場が第一管理区分であった。鉛以外の13事業所は、第一管理区分が35作業場で97%を占めた。有機溶剤は94事業場、第一管理区分が322作業場で88%を占めた。騒音は8事業所、第一管理区分が27作業場で40%を占めた。

<環境測定実施状況>

測定対象作業場	測定実施事業場数 件	延単位作業場数 件	延べ単位作業場の管理区分		
			第一管理区分	第二管理区分	第三管理区分
			件 (%)	件 (%)	件 (%)
鉱物性粉じん	46	208	177 (85%)	11 (5%)	20 (10%)
特定化学物質等	68	206	184 (89%)	10 (5%)	12 (6%)
金属類	鉛	3	7 (100%)	0	0
	鉛以外	13	35 (97%)	0	1 (3%)
有機溶剤	94	368	322 (88%)	27 (7%)	20 (5%)
騒音	8	69	27 (40%)	32 (46%)	10 (14%)